

おそき保育園 発表会

12月11日(火)祖父母の会、12月15日(土)発表会がおそき保育園ホールにて行われました。今年から発表会と名前を変えてクリスマス会とは別の会として行うこととなりました。二日間にわたって行われた発表会ですが、0歳児クラスから5歳児クラスまで各年齢それぞれの表情を見せてくれました。5歳児になると前の日から「先生ー！緊張するー。」と声にする子も

いましたが、本番は自信を持って頑張っていました。小さいクラスも音楽にのり、体でリズムをとるなど可愛らしい姿がありました。たくさんのご家族の方に見守られ素敵な会となりました。(天野恵利子)



ヤマメの飼育体験教室～黒沢川へ放流

第七小学校では、毎年秋から春にかけて「ヤマメの飼育体験教室」を行っています。これは、青梅市みどりと水のふれあい事業推進協会が主催する「水辺のふれあい事業」の一つとして、20年前から始まりました。本校は開始当初から参加し、今まで多くの児童が体験してきました。

今年度も32名の子どもたちが参加し、11月14日から発眼卵を学校や自宅の冷蔵庫で育て始めました。ほとんどの卵は冬休み前にはふ化し、玄関の水槽に移しました。2ヶ月ほどで2～3cmの大きさに育ち、3月6日に協会の方々の指導のもと子どもたちが黒沢川に放流しました。

子どもたちは、卵からとても大切に育て、自分の卵がふ化した時は大変な喜びようです。残念ながら、途中で死んでしまうヤマメも多くいますが、生き物の誕生と死を間近で見ながら、生命の尊さを学ぶよい機会となっています。(古川恵一郎)



1年生はスキー移動教室で長野県へ

第六中学校では、1月16日(水)～18日(金)まで、1年生の移動教室が長野県のよませスキー場で実施されました。スキーは初めて経験する生徒が多いですが、半日の基礎練習でリフトに乗り、山の上から滑って降りられるようになりました。2泊3日ですが、白い雪の上を自由に滑ることができるようになり、満足感いっぱいのスキー移動教室でした。また、雪国の生活を経験したり、日本最初のワールドカップスキーヤーの海和俊宏さんの「チャレンジする気持ち」の講話も聞くことができました。(市川 晃)



黒沢川清掃で都教委から表彰

小曾木地区の伝統ともいえる黒沢川清掃、地域の環境美化への継続的な取り組みが高く評価され表彰されました。子どもたちを実行委員として中心に据えていただいているこの活動は、青梅市全体の中でも注目されています。今回の受賞は七小・六中の同時受賞となりました。

この表彰は東京都教育委員会が心豊かな児童・生徒等を育成することをねらいとして、善行や優れた活動を行った児童・生徒を表彰しているものです。地域を大切に思い、自分たちでできることを着実に実行していくという、この取り組みのよさが受賞につながりました。地域の素晴らしい活動に改めて感謝申し上げます。(実森 浩明)

